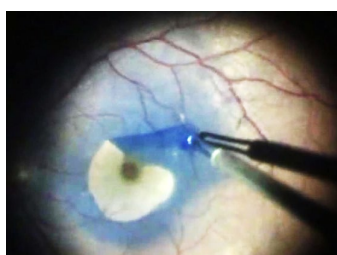


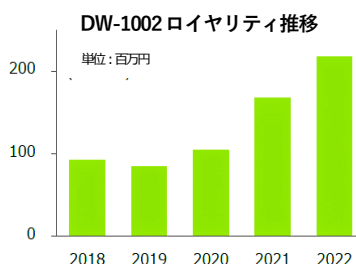
眼科手術補助剤「DW-1002」が中国で承認申請される

サマリー

- ※ DWTIは、眼科手術補助剤「DW-1002」のサブライセンスアウト先であるDutch Ophthalmic Research Center International B.V. (DORC) が、硝子体手術の内境界膜染色を適応症として、中国国家薬品监督管理局 (NMPA) に承認申請を行ったと発表した (現地時間5月30日付)。なお、本件によるマイルストーンの受領はなく、2023/12期の業績予想に変更はない。
- ※ DWTIは日本以外の全世界におけるDW-1002の独占的なサブライセンスをDORCに付与し、DORCは2010年9月、欧州等にて本製品を製造販売を開始した。米国では2019年に承認され2020年4月より販売を開始、カナダでは2021年に承認され2021年10月より販売されており、DW-1002 (ILM-Blue®、TissueBlue™、MembraneBlue-Dual®) は既にこれら米国、欧州を含む76の国と地域で上市されている。



出所: Journal of Ophthalmology



News Flash



注目点

緑内障や高眼圧症などの眼科疾患のキナーゼ阻害剤メカニズムの研究開発と治療薬の創製に強みを持つ創薬バイオベンチャー

クリス・シュライバー CFA
アナリスト

research@sessapartners.co.jp



本レポートは株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレーマーをご覧ください。

開発パイプラインの進捗計画

パイプラインの名称等		地域	2022	2023	2024	2025
H-1337	緑内障治療剤	米国	P2b準備	P2b		P3 ※2025年以降
K-321	フックス角膜内皮変性症	米国	P2	P3	※2022年8月よりP3開始。今後の開発は未定。	
DW-5LBT	帯状疱疹後の神経疼痛	米国		再申請	承認	上市
DW-1001	眼科用治療剤	日本	P1		P2	P3
DW-1002	内境界膜染色	中国	★	申請	承認	上市
	内境界膜染色 水晶体前囊染色	日本		申請	承認	上市

※上記計画のうち、ライセンスアウト済開発パイプラインについては、ライセンスアウト先が想定する開発計画と当社予想を組み合わせたものであり、実際の開発進捗と相違する可能性があります。 ※再生医療用細胞製品「DWR-2206」は、開発計画が確定次第、公表いたします。

出所: 同社22/12期4Q決算説明資料より抜粋。

LEGAL DISCLAIMER

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp